2025～2026

沼田ロータリークラブ会報

よいことのために手を取りあおう
UNITE FOR GOOD

2025～2026年度　国際ロータリー会長　フランチェスコ・アレッツォ

例会日…毎週火曜日　12:30　会長　塩浦敬之　　幹事　小倉　仁　　会報編集　高橋圭介
例会場　ホテル リブマックス　事務所　沼田市下之町888　テラス沼田７階　TEL 0278－24－1177

第3278回 例会報告
2026年5月26日
記録　髙 橋 圭 介

例　会　予　告	
６／２	会員卓話　西田俊太郎　会員
６／９	日本画家　豊野恭子　様

http://www.rid2840.jp/numata/

2026年6月2日発行　№37

会員卓話

３×３バスケを活用した地域活性化について

MINAKAMI TOWN EXE代表
大　塚　　俊 先生

■卓　話

小坂様にはご紹介いただきありがとうございます。みなかみ町で3人制プロバスケットチームとNPO法人を運営しています。スポンサーになっていただいてる方々にはご支援いただき感謝しております。

3×3バスケを見たりしたことはありますか。オリンピック種目にもなりアーバンスポーツとして少しずつ広まりつつあります。

39歳みなかみ町の旧水上町出身で、水上小中、沼高卒業後専門学校を出てアメリカに行き仕事。帰国後は群馬のプロバスケチームの練習生から埼玉のプロバスケクラブに所属していました。引退後は会社員など務めていましたが、縁あり田園プラザのおにぎり屋をロスで開店し運営する仕事をしていましいた。

帰国後みなかみ町に戻り、地域活性化とバスケットのプロを引退した方々の仕事生活支援のためと3×3バスケの普及に努めることを考え、今の活動を始めました。

NPO法人水上自然遊楽代表理事、エグゼ合同会社代表、みなかみタウンスポーツクラブ代表とバスケとスポーツを通じて地域活性化を推進しています。趣味は旅行、海外に仕事もかねて行っています。しゃべれる言語は英語と中国語。アメリカに足掛け8年在住、中国には仕事の関係で数年いましたので生活用語はなんとか大丈夫です。

3×3バスケはバスケット仲間だった共同代表者が帰国後持ちかけてきたのをキッカケに、みなかみで立ち上げました。共同代表者は渋川の方でしたが人口規模でも自然環境や仕事紹介などの観光経済環境を加味してこの地に同意してもらいました。



バスケプロ選手は一流を除くとほとんどがバスケの収入では生活できず、選手生命も短くセカンドキャリアが必要です。当然知名度のない3×3選手では別な仕事をしながら競技を続けざるを得ません。自分もデュアルキャリアや将来の不安を感じながらプロ生活をしていましたので、気持ちがわかり選手の生活の確立が大事なのはよくわかります。

チームの歩みは、2018年創設、2021年東京五輪聖火ランナーを沼田で参加、翌年は地域スポーツクラブとして登録、カンファレンス優勝。2025年海外事業としてベトナムのホーチミン市に3×3チームを立ち上げました。今年から行政にも認知され体育館の指定管理者に指定されたり、不登校の子供をスポーツを通じて支援する「ミナクル」を立ち上げ、行政とも良い関係を構築できました。

どんなチームか、3×3の魅力は何かというと、一つのゴールバスケに21点入れたら勝ちで、広いスペースはいらないで場所を選ばずできます。ショッピングモールなどでよく試合が開催されています。

経営を支える基盤は、スポンサー収益、チケット収入、グッツ販売益、スクール指導収入、放映権が主なものです。試合のチケットの販売はまだ少なく放映はなしですから厳しいです。スクールが少々で、グッツやPRのデザイン業務もしています。基盤強化のため多角化をして稼ぐ必要があります。

チームの理念は「スポーツを通じて地域を元気にしていく」で、スポーツ環境を整え魅力あるまちをつくることです。3×3を通じ

て地域住民にスポーツアクティビティを整え、みなかみ町から世界で活躍する人材を育てていきたいと思っています。

3×3の普及は千葉県の大多喜町でプロチームを立ち上げ、みなかみと同じ問題を抱えてる町をアドバイザーとして関与しています。ベトナムのホーチミン市でもプロチームを立ち上げています。各地との交流を活発にすることで当地に来てもらい合宿や試合などで3×3の普及だけではなく、使ってもらうことも活性化の一つです。

スポーツを通じて地域のいろいろな課題に取り組んでまいりたいと思います。多様化な時代で人口減少が進むこの地で求められることは、青少年が誇りを持ち生活できる場を構築していくこと。国際化社会で東南アジアなど人口増加地域でのこの地の認知度を高めて交流人口を増やすことなどいろいろあります。

地域との連携を深め、子供たちへの環境整備を行い、人づくりを目指して3×3だからできることにチャレンジしてまいります。

例　会　報　告

■司　会　　田辺祐己SAA出席委員
■ソング　　四つのテスト　　深津卓也君
■来賓及び来訪ロータリアン
　みなかみタウンエグゼ代表　　大塚　駿様

会長の時間　　塩浦敬之会長

全国のロータリークラブの活動を見聞きしておりますと、「地域に根ざした活動」と「人と人とのつながり」の大切さを感じます。

関西地区では、豊中や大阪などで地域の子どもたちの居場所づくりや子ども食堂への継続的な支援活動に積極的に取り組まれております。また北海道地区では、千歳で子供たちと一緒に田植から収穫までの作業等地域との交流を大切にしているようです。これらの活動を見ていますと、ロータリーというのは、それぞれの地域に合った形で、人と地域を支えているのだと感じます。都市部のクラブには都市部の役割があり、地方クラブには、また違った役割があります。

特に地方では、人口減少や高齢化など様々な課題がある一方で、人と人との結びつきの強さという大きな財産があります。ロータリークラブは、その地域の結びつきをさらに強くし、次の世代へつないでいく存在でもあるのではないかと思います。

もちろん、当クラブではこれまで地域に根ざした様々な奉仕活動を行ってまいりました。それらの活動を続けてこられたのは、長年にわたりクラブを支えてこられた歴代クラブ会長をはじめ先輩方、そして現在活動されている会員皆さんのお力添えがあったからこそだと思っております。

ロータリーの魅力は、例会で顔を合わせ様々な職業や経験を持つ方々と交流できる点にもあると思います。仕事の話地域の話、時には趣味の話など、何気ない会話の中から新しい学びや気づきを得ることも多々あります。

最近は人との関わりが少しずつ希薄になったと言われます。だからこそ、このように定期的に集まり、直接顔を合わせる時間は、とても貴重なものではないでしょうか。

ロータリーは奉仕の団体であると同時に、人と人との信頼や友情を育む場でもあります。

私自身も、クラブの中で多くの学びやご縁をいただいて成長してきたと思います。

幹事報告　　小倉　仁幹事

・特記事項なし
　先週はケガのため欠席しご迷惑をおかけしました。

委員会報告

◎SAA出席委員会　　山田龍之介委員

会員数	会場出席	メーク	出席率
73名	21名	19名	65.10　%

◎ニコニコ委員会　　小島隆一委員長

・ニコニコー週間　寒暖差が大きく体調を崩しがちになるので注意を。

塩浦敬之君　小倉　仁君　押川幸男君
春日政志君　北島梢太君　小島隆一君
髙橋圭介君　武田　寛君　須田千秋さん
田代経量君　戸部聖之君　須田羊子さん
深津卓也君　保坂充勇君　三浦敬二君
山田龍之介君

◎財団ＢＯＸ　ＩＮ　　押川幸男委員長

塩浦敬之君　小倉　仁君　天野純一君
押川幸男君　春日政志君　木下康彦君
桑原　滋君　小島隆一君　須田千秋さん
髙橋圭介君　武田　寛君　須田羊子さん
田代経量君　津久井功君　戸部聖之君
深津卓也君　保坂充勇君　西田俊太郎君
三浦敬二君　横山公一君　割田一敏君